



蒲生高校だより

第6巻 第2号 (通巻17号)

発行日 平成19年12月21日

鹿児島県立蒲生高等学校

体育祭からスタートした2学期、はや12月を迎え、北風吹く季節となりました。様々な行事に取り組み、生徒は時として後戻りしながら自己を見つめ、心身ともに成長しています。洗柿は、「干す」ことにより甘みが増しおいしくなります。生徒も厳しい条件下であっても謙虚に受け止め、自分らしい花を咲かせてほしいと願っています。冬休みを迎えるにあたって、足元を見つめ直すとともに日頃から温かい目で見守ってくださる方々に感謝しつつ、新しい年へジャンプできるよう、声援・励ましをいただけたらと思います、生徒たちの姿を紹介します。



競技委員長を先頭に、堂々たる入場



クラスの名誉をかけた意地のぶつかり合い
学級対抗リレー

酷暑の中の練習、練習、練習。それを乗り越えて迎えた第60回体育祭。練習の成果か、赤、緑、黄色、最後まで大接戦。結果は赤組優勝!!日本晴れの下、盛大に初秋の祭りは終わりました。

体育祭

走った! 舞った! 感動した!



体育祭を盛り上げる応援団



男子全員による
学年対抗
背中渡り



女子全員による
学年対抗竹取物語

第60回

大楠祭

テーマ

Catch the dream

～VIVA☆青春 大楠祭～



全校生徒の手形でつくった全校出し物

が発表されました。その透き通った歌声は会場全体を包み込み、大楠祭に華を添えてくれました。2日目には、各クラスアイデアいっぱいの展示やバザー、日頃の練習の成果を十分に発揮した個人参加部門、写真部・吹奏楽部のステージなどが披露され、生徒のいつもと違った一面を見ることができました。



全体を通じて、生徒一人一人の大楠祭に懸ける意気込みを肌で感じ、思い出に残る素晴らしい大楠祭になりました。

全体を通じて、生徒一人一人の大楠祭に懸ける意気込みを肌で感じ、思い出に残る素晴らしい大楠祭になりました。



飛躍する部活動

九州地区ワプロ競技大会
(7月25日)

【速度の部】

団体 第3位
個人 第3位 松原 沙世(蒲生中)
正確賞 大室 直子(祐佐中)
梶原まどか(祐佐北中)

全国大会にも出場し、善戦しました。

鹿児島県ワプロ競技大会新人戦
(10月7日)

【技能の部】

団体 第2位
個人 第2位 中西 裕也(祐佐中)

【速度の部】 団体 第4位

始良・伊佐地区秋季大会
(10月25日～26日)

【バドミントン部】

女子団体 第3位
女子個人シングルス
〈共通の部〉
第3位 山元 美咲(山田中)
〈新人の部〉
準優勝 川原 麻美(吉田北中)

【ハンドボール部】 優勝

第19回南九州高等学校
ハンドボール大会県予選 優勝

第19回南九州高等学校
ハンドボール大会 優勝

いろいろな分野で 頑張っています

県作文コンクール特選



県の作文コンクールで久保園友希さん(普通科3-2, 重富中)が特選に選ばれました。夏休みの課題作文の中から、各学年一編

ずつを校内選考して応募した結果です。久保園さんの『古事記を読んで』は、古来から現代まで変わらない日本人のものの見方や考え方に視点をあてた内容で、『古事記』という上代の古典作品を選んだことも評価されたと思われます。

他の入賞者は次の通り。

【入選】重森 千明さん

(情報処理科2-1 満辺中)

「優先順位」

【入選】嶺崎麻衣子さん

(情報処理科1-1 吉野中)

「自分に負けない」

交通 教室

～命の大切さを実感～

交通指導係 永迫 健一



7月5日に、原付免許取得者以外の生徒は体育館で警察の方からの交通講話を、原付免許取得者136名の生徒は、鹿児島県自動車学校でバイク実技講習を受けました。車体検査の方法から始まり、基本走行等の実技指導の他、車両速度の目測の学習などを自動車学校のスタッフの方々に指導していただきました。本格的なコースで、専門の職員による実技講習ということで、生徒たちも緊張した表情で臨んでいました。わずか半日ですが、普段の自分の運転を見直し、交通安全の自覚を再確認する

良い機会に

なったようです。地理的に公共の交通機関の便が少ない本校では、単車通学に頼らざるを得ない生徒が多くいます。幸いにして、命に関わるような大きな事故は起きていませんが、交通事故に対する不安は常にあります。今後も生徒・職員、全校で交通安全に対する意識を盛り上げていきたいと思っています。



第47回鹿児島県高等学校弁論大会

11月23日



今年の県の弁論大会には、20校の生徒が参加し、自分の生き方や社会問題などさまざまなテーマについて各自の思いを熱心に発表していました。本校からは吉松あやのさん(普通科2-1 重富中)が「祖母の戦争体験をつなぐ」という題で出場しました。審査員や一般の人々が大勢いる中で、堂々とした態度とはっきりとした口調で自分の考えを述べていました。最優秀賞1名、優秀賞5名が選ばれ、吉松さんは惜しくも入賞を逃しましたが、他校の生徒たちと自分の思いを分かち合うという貴重な体験をすることができました。

PTA親子ふれあい校内清掃

～美しい環境づくりを～

まだまだ残暑の厳しい9月最初の日曜日、「PTA親子ふれあい校内清掃」が行なわれました。この時期



恒例の行事

ということ

もあり、多

くの生徒な

らびに保護

者が参加し

ました。今

回は、体育祭を前に、主に運動場を

中心とする清掃が行われました。ま

た、体育館裏や各棟の間など、普段

の掃除では行き届かない場所まで

丁寧に行うなど、皆一生懸命取り組

みました。そしてなにより、親子ふれ

あい清掃の一番の良さは、親子共に

体を動かしながら汗を流すところ

ではないでしょうか。黙々と活動する

光景に、感動すら覚えた今回の清掃

活動でした。



2年生全員による職場体験学習が、近隣の官公庁や福祉施設、幼稚園、保育園、会社など1市3町35社で3日間実施されました。若者の勤労観や職業観、勤労意識が多様化する中で、仕事を身近に感じ、自分なりに将来について考えることができたのではないのでしょうか。蒲生町役場総務課でお世話になった松井健人くん(普2-2 蒲生中)・高木美穂さん(普2-2 站彦中)は、広報誌作成に携わり、素晴らしい出来映えでした。

職場体験学習

(10月2日～4日)

～ぼくらの夢探し～



感想を紹介
します。「福
祉関係の仕
事をしてみ
たいと以前
から思っ
ていたの
で、職場体
験

学習がとて
も楽しみな
でした。不
安や緊張も
ありまし
たが、優し
く指導して
下さいまし
た。そして
何よりおば
あちゃんや
おじいちゃん
達と話をし
たり、ご飯
を食べたり
、レクレー
ションをし
たりと、と
ても楽しく
、温かい気
持ちになれ
ました。こ
の体験学習
で私はすこ
う大切な
ものを得る
ことができ
、貴重な3
日間になり
ました。進
路選択やこ
れからの自
分に活かし
ていきたい
と思います
。」内山綾
さん(普2-
2 満辺中)

また、体験学習にご協力下さった各事業所からも温かい励ましのお言葉を頂きました。

ホームページもご覧ください

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/>

鹿児島県給良郡蒲生町下久徳848-2

鹿児島県立蒲生高等学校

電話 0995-52-1155

FAX 0995-52-1161